

0-9

バイオジェニクス合剤による腹部症状・免疫能の改善効果

A Biogenics Mixture Improves Abdominal Symptoms and Immune Responses

田中 宏明¹⁾、鈴木 信孝²⁾

1) 医療法人田中宏明・内科胃腸科クリニック 2) 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科

‘Bellilact’ is a newly developed combination of a biogenics, two prebiotics and three plant(herb) extracts. Effects of ‘Bellilact’ on abdominal symptoms and immune response were studied. We investigated defecation diary, blood chemistry, hs-CRP and Th1/Th2(CD4) in healthy to mildly constipated subjects. In addition to improvement of stool conditions and abdominal fullness, mild elevation of Th1/Th2(CD4) were observed. These results suggested that ‘Bellilact’ not only improves mild constipation but may enhance immune responses.

[目的]

近年、便秘型便通異常が増加する一方で、花粉症などの免疫異常も増している。乳酸菌発酵物質などのバイオジェニクスに植物エキスとプレバイオティクスを加えることで、腹部症状改善に加えて免疫能が向上する可能性を評価することを目的とした。

[方法]

被験者は健常～軽・中等症便秘の成人男女とした。バイオジェニクス、プレバイオティクスおよび植物エキスの合剤を1日4g投与して、1週間目のTh1/Th2(CD4)比、1および4週間目の血液生化学を測定した。また、排便日誌を用いて腹部症状の改善の有無を評価した。

[結果]

排便回数、便性状、腹部膨満感の改善に加えて排便後の爽快感が認められた。1週間目のTh1/Th2(CD4)比は軽度な上昇を示す症例が認められた。血液生化学の変化は認められなかった。

[結論]

乳酸菌発酵物質に植物エキスとプレバイオティクスを混合することで、腹部症状の改善および免疫能向上の可能性が示された。今回の結果から、バイオジェニクス合剤の摂取により、便秘型便通異常の改善とともに、花粉症などの免疫応答の異常に由来する諸症状が改善する可能性が示唆された。